

早期景気観測調査

【8-9月期 調査結果概要報告書】

平成28年10月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成28年9月15日(木)～30日(金)
4. 調査対象： 当所会員153事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 102件
7. 有効回答率： 66.7%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【8－9月期の動き】

業況は3期ぶりに大幅に持ち直す 卸売業を除くすべての業種で業況改善 向こう3カ月の先行きも改善の見通し

8－9月期の全業種総合の業況 DI は▲24.5（前期比+13.7ポイント）となり、3期ぶりに改善に転じた。仕入単価 DI は悪化に転じたものの、売上 DI については8期ぶり、採算 DI については6期ぶりに改善に転じている。その他、従業員 DI は改善、金融貸出し DI は悪化に転じている。向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

業種別では、卸売業を除く業種（製造業・建設業・小売業・サービス業）で業況改善となった。

製造業の業況 DI は▲15.4（前期比+14.2ポイント）で、5期ぶりに改善に転じた。採算 DI が4期連続の悪化となった一方で、売上 DI は5期ぶりに改善し、+29.6ポイントの大幅なプラス。仕入単価 DI、従業員 DI、金融貸出し DI もそれぞれ2期連続で改善している。

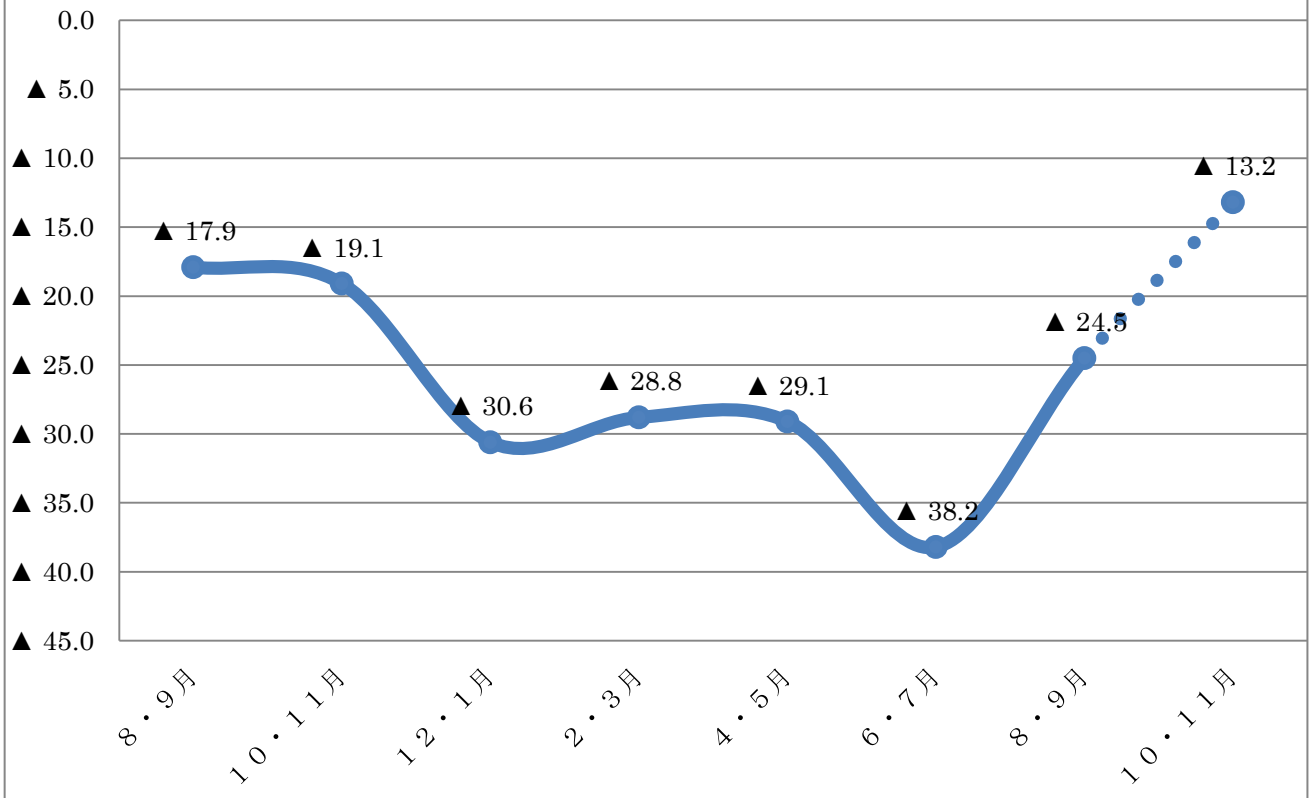
建設業の業況 DI は▲11.1（前期比+17.5ポイント）と3期連続の改善となった。売上 DI が悪化に転じた一方で、採算 DI・仕入単価 DI（4期ぶり）は改善に転じている。また、従業員 DI は3期ぶりに改善、金融貸出し DI は2期連続の悪化となっている。

卸売業の業況 DI は▲40.0（前期比▲28.2ポイント）と2期連続で悪化。平成26年10・11月期以来の水準となり、大幅なマイナスとなった。全ての項目で悪化しており、特に売上 DI が30.6ポイント、仕入単価 DI が39.2ポイントのマイナスと大幅な悪化が目立つ。

小売業の業況 DI は▲42.9（前期比+24.4ポイント）と大幅な改善に転じた。売上 DI・採算 DI・従業員 DI はいずれも改善に転じ、仕入単価 DI についても6期連続の改善となっている。唯一、金融貸出し DI が悪化に転じた。

サービス業の業況 DI は▲17.6（前期比+29.5ポイント）と大幅なプラスとなり、2期連続で改善した。売上 DI は2期連続で改善、採算 DI も3期ぶりに改善し、+35.2ポイントの大幅なプラスとなっている。一方で、仕入単価 DI は2期連続の悪化となった。また、従業員 DI については改善、金融貸出し DI については悪化している。

業況D I の推移

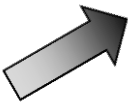

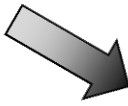




◆全業種・業種別詳細

※ D I 値 (景況判断指数) について

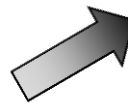
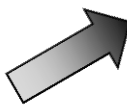
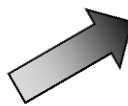

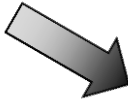
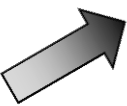
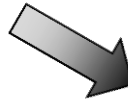
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「」(改善)と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「」(改善)と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲24.5	▲13.2	▲33.0	▲28.3	▲18.9	13.2	▲0.9

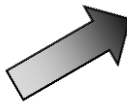
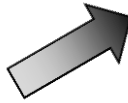
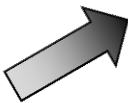
8-9月期の全業種総合の業況D I は、**▲24.5** (前期比+13.7ポイント) となり、3期ぶりに改善に転じた。

項目別では、売上D I (▲41.8→▲33.0)・採算D I (▲41.8→▲28.3)・従業員D I (10.0→13.2)は改善、仕入単価D I (▲13.6→▲18.9)・金融貸出しD I (5.5→▲0.9)は悪化となっている。とりわけ、売上D I については8期ぶり、採算D I については6期ぶりに改善している。

向こう3カ月の先行き業況は、▲13.2と改善する見通し。

◆ 業種別

製造業

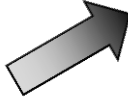
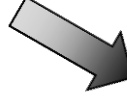
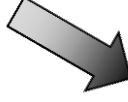

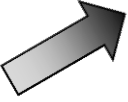


業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲15.4	▲3.8	0.0	▲19.2	▲3.8	11.5	3.8

業況DIは▲15.4（前期比+14.2ポイント）で、5期ぶりに改善に転じた。

採算DIが4期連続の悪化（▲18.5→▲19.2）と低調が続いているが、売上DIは5期ぶりの改善（▲29.6→0.0）、仕入単価DI（▲7.4→▲3.8）・従業員DI（11.1→11.5）・金融貸出しDI（3.7→3.8）もそれぞれ小幅ながら2期連続の改善となっている。とりわけ、売上DIは+29.6ポイントと大幅な改善をみせている。

向こう3ヶ月の業況は、▲3.8と改善する見通し。

建設業


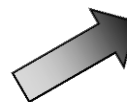




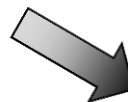
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲11.1	▲38.9	▲38.9	▲33.3	▲22.2	22.2	0.0

業況DIは▲11.1（前期比+17.5ポイント）と3期連続の改善となった。

項目別では、売上DI（▲33.3→▲38.9）が悪化に転じた一方で、採算DIは改善（▲47.6→▲33.3）、仕入単価DIも4期ぶりに改善（▲23.8→▲22.2）に転じている。また、従業員DIは3期ぶりに改善（9.5→22.2）、金融貸出しDIは2期連続の悪化（9.5→0.0）となっている。

向こう3カ月の業況は、▲38.9と大幅な悪化となる見通し。

卸売業


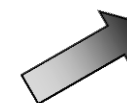
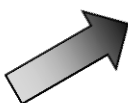
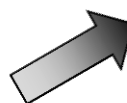

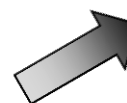

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲40.0	▲60.0	▲26.7	▲33.3	6.7	6.7	0.0

業況DIは▲40.0（前期比▲28.2ポイント）と2期連続で悪化。平成26年10・11月期以来の水準となり、大幅なマイナスとなった。

全ての項目別DIが悪化しており、特に売上DIが▲29.4→▲60.0と30.6ポイント、仕入単価DIが5.9→▲33.3と39.2ポイントのマイナスと、大幅な悪化が目立つ。

向こう3カ月の業況は、0.0と大幅な改善に転じる見通し。

小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲42.3	▲7.7	▲53.8	▲46.2	▲7.7	11.5	▲7.7

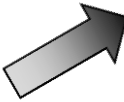

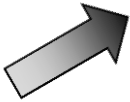
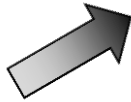
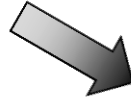
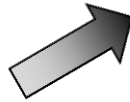
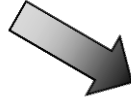
業況DIは▲42.3（前期比+24.4ポイント）と大幅な改善に転じた。

売上DI（▲66.7→▲53.8）・採算DI（▲66.7→▲46.2）・従業員DI（11.1→11.5）がいずれも改善に転じ、仕入単価DI（▲14.8→▲7.7）については、6期連続の改善となっている。唯一、金融貸出しDI（3.7→▲7.7）が悪化に転じた。

業況DI含め多くの項目で改善をみせたが、他業種と比較しても依然低水準が続いている。

向こう3カ月の業況は、▲7.7と大幅に改善する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲17.6	▲23.5	▲29.4	▲17.6	▲47.1	17.6	▲5.9


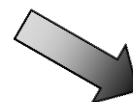




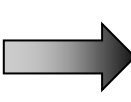
業況DIは▲17.6（前期比+29.5ポイント）と大幅なプラスとなり、2期連続で改善した。

項目別では、売上DIは2期連続で改善（▲47.1→▲29.4）、採算DIは3期ぶりに改善し、▲52.9→▲17.6と+35.3ポイントの大幅なプラスとなっている。一方で、仕入単価DIは2期連続の悪化（▲29.4→▲47.1）となった。また、従業員DIについては改善（5.9→17.6）、金融貸出しDIについては悪化（0.0→▲5.9）となっている。








向こう3ヶ月の業況は、▲23.5と悪化する見通し。

◆ 業種別詳細

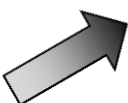






製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


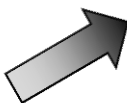
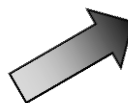




製造業（家具）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

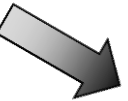
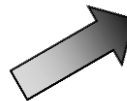

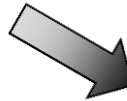
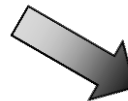


製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						








製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

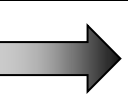
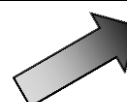

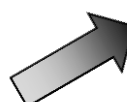



製造業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

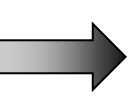
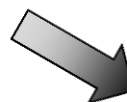





建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

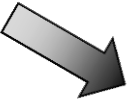
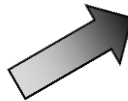





建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

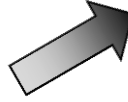
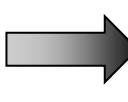
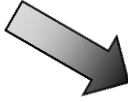
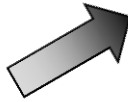
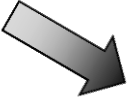
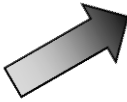
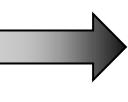
建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

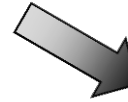
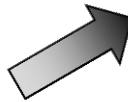

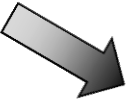


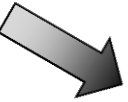
卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

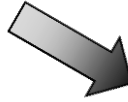
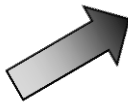
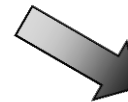
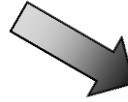
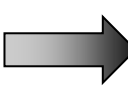
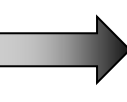
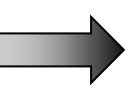
卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

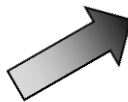
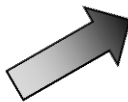

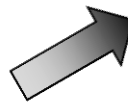

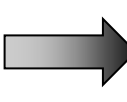
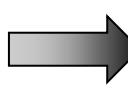
卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						






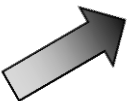
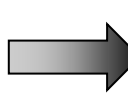
小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

➤ 中小企業の声（現状や直面してる課題）

【製造業】

製造業（食品）

- 麦ごはん（大麦）の健康ブームと相まって、TV 放映によるトライアル増加、リピーター確保で大きく伸長している。当社の主力事業としても追い風。
- 昨年と比べるとバス集客は増えていますが、一昨年には及びません。これから観光シーズン、また、本格的に仕込みが始まり、一年の中で活気がある数カ月になります。増名することにより、昨年よりもまた忙しくなり、来年以降の売上増加を期待しています。

製造業（家具）

- 中小企業の経済政策に対する政府のスタンスには以前から不安視していましたが、最近ではそれ以前に防衛政策（対中、対北朝鮮）に対する手詰まり感に不安を覚えます。

製造業（工業製品）

- 半導体関連（IOT 関連の研究）は少々伸びております。自動車も一部良し。下請け底上げが出来ていない。仕事がない。
- スマートフォン市場は、新機種の販売に伴い部品志需要は増加している。

製造業（宝飾）

- 店頭での商品の動きが低調。

【建設業】

建設業（建築）

- 政府・地方公共団体の上半期 80%発注の影響で、前年度より受注は 8・9 月期は増加するが、80%発注でこの程度では、業界全体（県内）に好影響は少ないと考えられる。下半期に国の補正予算の編成・執行がなされると思われるが、公共事業費は 1 兆 2 千億円余りと考えられ、本県にどの程度配分されるかが焦点と思われる。あまり楽観はできないのでは？
- 大手の下請け会社は、仕事は忙しいがその他は悪いです。

建設業（鉄鋼）

- 受注量は来年 7 月まで抱えている。原材料の単価は動きなし。年度末に向かって技術者不足感が予測される。

【卸売業】

卸売業（食品）

- 為替の波が激しく、原料の高騰及び、天候不順による魚価の高騰で、販売数量が伸び悩む。

卸売業（その他）

- ・業界市場（ガス）は若干の悪化傾向にあるものの、弊社業況は昨年と変わらず。
- ・円高による粗利アップ。
- ・現状を良しとするのではないが、これ以上の落ち込みは店を維持する気力もなくなってしまう。

【小売業】

小売業（大型店）

- ・山梨県最低賃金のアップに伴い、10月よりバイトの時給をアップするため、10月以降人件費が多少アップする。今後、毎年人件費アップが続くため、他の経費削減が必要になってくる。

小売業（趣味・日用品）

- ・昨年は8月末～地域振興券の影響で売上高が上がったため、昨年に比べ減少したものの、一昨年に戻っただけ。総じて悪くはない。

小売業（家電）

- ・補聴器業界はシニア世代の増加による売上向上を期待するところですが、客単価の伸び悩み、買い替えサイクルの長期化で、思うような売り上げが達成できていない状況です。

【サービス業】

サービス業（ホテル）

- ・インバウンド観光客は河口湖のみ。甲府市内は減少。
- ・昨年は南アルプスに行く学生の団体・個人が多かったのですが、今年の9月に入ってからのお客様はキャンセルが多い。また9月の連休も、昨年は4日間、19日・20日・21日・22日と満室でしたが、今年は17日・18日と2日間だけで、9月に入ってから伸びがありませんでした。

サービス業（観光）

- ・仕入単価上昇での採算減少は否めず。（特に年末にかけて）
- ・団体客が少ないです。
- ・夏休み期間好天により、南アルプス登山バスが好調に推移しましたが、9月は台風や日並びが前年より悪くなったことから、各観光事業で売上が減少見込みです。

サービス業（飲食その他）

- ・夏の最需要期が過ぎ、仕入価格が少し下落してきました。しかし昨年よりは高値です。
- ・プライダルのドレス、成人式のレンタルが好転してきた。七五三の需要が減少している。
- ・昨年と比べ若干落ちてはいるが、年末に向けて多少は上向くと思います。

以上